

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成27年8月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は2から1に減少。「減少した」業種は10から12に増加。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は6から7に増加。「減少した」業種は7から10に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は1から0に減少。「悪化した」業種は11のまま変化なし。

前年同月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は4のまま変化なし。「減少した」業種は8から10に増加。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は7から8に増加。「減少した」業種は8から9に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は3から5に増加。「悪化した」業種は11から13に増加。

製造業

豆腐製造

【県内全域】

国産大豆の作付けの発表によると作付面積は増えているが、異常気象により順調に収穫できるか懸念される。今後の天候次第だが、大豆の値段の高騰も考えられる。

酒類製造

【県内全域】

売上は対前月比、前年比とも若干好転している。

製材

【木更津】

8月入港、ロシア材1隻、米材船2隻、南用材入港なし。3隻入港のため、在庫数量は増加。荷動きは悪い。

印刷

【県内全域】

8月の県内組合員受注売上は、7月と比較して15%前後減少した模様です。営業日数が前月より5日〜7日少ないこともあり、県内各地で受注減になった模様です。個人消費が活発化する夏休みですが、猛暑や天候不順で思ったほどの結果は出ていないようです。地域経済の起爆剤と期待されたプレミアム商品券も、景況感悪化で売れ残ったり、日用品に回ったりと、本来の効果がでないようです。

鉄工

【千葉】

各社の動向は、売上が伸びない

中で、収益環境の改善見込みが立たない状況が続いており、苦戦中の先多数。

機械部品製造

【流山】

受注に良い時、悪い時の波があるが、波の周期が見えない。

機械部品製造

【柏】

8月は休みも多く、低調。7月比6割程度。業界動向は、変化に伴う開発試作は増えている。

金属製品

【船橋】

受注状況は、8月は長期休暇があったので大幅に減った。

砕石

【県内全域】

8月は10日以降から今までの晴天気候から打って変わって低気圧や複数の台風の接近があり、東京湾内も荒天により波浪が続いたため作業の休止や、加えて盆休暇が重なり操業日数が減少したために搬出が落ち込んでいる。今後とも、千葉県産の石材の需要があるものの、採石場の廃止などにより採取地が減少し、供給が追い付かない状況である。

土砂採取

【県内全域】

景況感のよかった東京湾沿岸部、千葉西部地区についても一服感が出ている。他地区については、仕事量が確実に減少傾向が出ている。

山砂は低迷しており、生コン用砂は横ばいでまだ上向き様子がない。

非製造業

【総合卸売】 千葉県・東京都

【総合】 7月初めからの猛暑で、

各社冷房に係る電気料金が前年比5～10%アップ。特に食品(食肉、鶏卵、漬物)関係の冷蔵・冷凍庫の電気料金がコストアップとなっている。【酒類卸】 猛暑にも関わらず、ビール系飲料売上の伸び低調。秋以降の新製品に期待。組合

の事業活動等は、8月7日、「団地夏祭り」実施。参加者310名(前年比7%UP)

【食肉卸売】 千葉市他

肉豚出荷頭数の減少が続いている。組合の事業活動は、前月同様に屠畜頭数が少なく、収益状況が悪化している。

【リサイクル卸】 県内全域

取扱量が減少しているため、収益に結びつかない。

【建築材料卸売】 県内全域

民需の落ち込みが激しい。新規物件が払底している。契約残を食いつぶすことにより今後出荷減少が当分続くことになる。オリンピックまでは増加する予想とは裏腹に、日本全国の内需絶対量が減

り、景気は踊り場ではなく、下降局面に向かう。第一四半期も前年割れだったが、第二四半期以降は更に減少率が大きくなる。

【自動車解体】 県内全域

スクラップ価格下落続く。8月は実稼働日数も少なく売上確保も難しい。業界動向は、自動車リサイクル法の見直しの議論の中で、現状より細かい素材分別が取り上げられている。

【乾物卸売】 県内全域

景気の変化について、引き続き低調。千葉県水産課の指導のもと、千葉海苔消費拡大の戦略を策定中。千葉海苔の「新のり」の定義を定め、製販足並みを揃え、海苔の旬をアピールすることを決定。

【卸売】 茂原

気候の高温のためなのか、品物の売行きもよくありません。全体的に景気の落ち込みが考えられます。全業界が不安定でまったく先行きが分かりません。

【電気機器小売】 県内全域

天候の影響で、前半はエアコンが動いたが、後半は冷夏でエアコンは動かず、他の商品も動かない。大型店での売れ行きも悪いと聞くと。業界動向は、シャープが得意

とする液晶テレビの設備を売却する、なぜと言いたい。この状態では、家電メーカーも知れたものだ。

【青果小売】 千葉

果実は秋物へと進んでおり、消費拡大の期待感が広がってきている。しかし、天候不順のためか、野菜が安定入荷せず高値が続いており、なかなか消費拡大へつながらない。

【中古車仕入・販売】 県内全域

業界動向は、鉄相場の下落により、解体自動車の引き取り価格が下がる可能性あり。中古車を販売時の下取りや買取に影響が出るかと予想される。

【小売・サービス】 柏

前半の猛暑、後半の雨続きと路面店では最も悪いパターンに終した。プレミアム商品券の効果も限定的となってきた。柏市全体で見ても大型店での消費が多く、とりわけイオンショッピングモールでの使用が多い模様。商店街的には一部飲食店で改善が見られたが物販では最悪との声が多い。

【遊覧船】 鴨川

8月は、旧盆後に台風16号の影響により欠航が6日あり、売上が伸び悩んだ。

【学習塾】 県内全域
夏期講習の受講状況は、先月と変わらず。

【土木建築サービス】 県内全域

4～6月期のGDP速報値が3四半期ぶりにマイナス成長となったが、落ち込みは一時的で7～9月期以降はプラス成長に戻るという官民共通の見方も、中国経済の減速で世界景気の先行きに不透明感が強まり、8月後半からは世界同時株安の状況を呈している。この世界的な連鎖株安が加速して、世界経済が失速するようなことがあると、アベノミクスが目指す成長戦略の土台が崩れかねない。

【建設業】 県内全域

8月の公共工事落札状況は、7月に引き続き好調に推移。6月の落ち込みを直近2か月で穴埋めし、前年同期水準で回復した。特に、内房方面の県関連工事が大きく寄与している。

【貨物運送】 野田

8月は休日が多いせいかわさのせいか売上が低かった。